

六隊附外國武官ニ其ノ希望ニ應ニ可成研究ノ便宜ヲ興フル  
モノトス但シ軍事上機密及秘密ニ屬スル教育演習  
ニ參與シ又ハ之等ノ圖書ヲ閱覽セシムルハ陸軍大  
臣ノ認可ヲ經ルモノトス

七隊附外國武官ニハ責任アル軍務ヲ命セサルモノトス  
八隊附外國武官ノ懲罰犯罪事項ハ當該隊(大)隊長其  
ノ事情ヲ詳記シ順序ヲ經テ陸軍大臣ニ申告ス  
九隊附外國武官其ノ隊附ヲ完了シタル場合ニハ聯(大)隊長  
ハ順序ヲ經テ其ノ成績ヲ陸軍大臣ニ報告ス

(本要領中二四五六七八及九項ハ入隊セシ外國武官ニ告知セ  
サルモノトス)



統監上奏韓國忠清南道ノ暴徒討伐ノ  
件

右謹テ御覽ニ供ス

明治三十九年六月一日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望



明治三十九年六月一日

内閣書記官

内閣總理大臣



内閣書記官長

統監上奏韓國忠清南道ノ暴徒討伐ノ件

豫ニ奏上シタル如ク韓國忠清南道ノ  
暴徒鎮定ノ為我韓國駐劄軍司  
令官ニ對シ兵力ノ使用ヲ命シタルニ  
駐劄軍ヨリハ大隊長ノ指揮スル歩兵  
二個中隊ヲ派遣スルコトニ決定シ去ル五  
月廿七日午後七時半汽車ニテ京城出  
發二十九日洪州城外ニ到着昨三十一日  
洪州城攻撃ニ關シ指揮官田中少佐  
ヨリ同日付ヲ以テ左ノ電報到達セリ

豫定、如ク昨三十日午前十一時三十分ヨリ偵察ヲ施行シタル後本日午前三時東門及北門、門扉ヲ破壊シ稍激烈ナル市街戦、後午前七時半全部ヲ占領セリ我死傷輕傷二敵、死者六十現在、俘虏百二十七尚ホ續續捕獲シ得ル見込賊將未タ見當ラズ西南ニ逃走、疑アリ敗兵ハ目下之ヲ追撃シツ、アリ鹵獲品數ハ取調中俘虏ノ言ニ依ル敵、兵數約一千、賊ノ為ニ捕

ヘラレタル日本人ハ斬殺セラレアリシヲ發見ス

右謹テ奏ス

明治三十九年六月一日

統監侯爵伊藤博文

辨外

韓國忠清南道ノ暴徒討伐ノ件ニ  
關シ別紙上奏書進達ス

明治三十九年六月一日

統監後書伊藤博文

内閣總理大臣後書西園寺公望殿